

令和5年7月19日(水)

宇宙行くの 夢なんたら 諦めんなよ
もし諦めきれんなら そんなもん夢じゃねえ

これは、漫画『宇宙兄弟』第2巻に出てくる南波日々人のことばです。

宇宙飛行士選抜二次選考の合否の結果を待つ間、南波六太は、弟の日々人に招待され、アメリカで過ごします。六太は以前、日々人の悪口を言う上司に頭突きをして会社をクビになったことが、当時の上司からJAXA（宇宙航空研究開発機構）にねじれて伝わったことを、後輩からの連絡で知ります。正式が通知が届く前から、これで二次選考には確実に落ちたと思い込み、すっかり宇宙飛行士になる夢を諦めている六太を挑発する、日々人のセリフです。

兄・六太の才能と夢への強い思いを、誰よりも信じている弟・日々人からの熱いエールですが、先に夢を実現させた弟への強いコンプレックスと、「自慢の兄」になれなかった悔しさ、運のない自分に苦悩する六太には、素直に届きません。

日々人にとっては、「二人で宇宙に行く」ことが夢であり、周囲に「六太は今、宇宙飛行士になる準備中」と言い続けたのも、「夢を諦めるな」と六太を挑発するのも、その夢を実現することに、強い思いを抱いていたからでした。